

ワイヤレスシステム

WMS40 PRO MINI

取扱説明書

お買い上げいただき、誠にありがとうございます。
安全に正しくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。
この取扱説明書は、お読みになった後も、いつでも見られるところに保管してください。

安全上のご注意

取扱説明書には、お使いになる方や他の方への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。以下の注意事項をよくお読みの上、正しくお使いください。

注意事項は危険や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った扱いをすると生じることが想定される内容を次の定義のように「警告」「注意」の二つに区分しています。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。

警告

- AC100V 50/60Hzの電源で使用してください。これ以外の電源では火災や感電の原因となります。
- 必ず専用の電源アダプターを使用してください。これ以外のものを使用すると火災の原因となります。また、電源アダプターは他の機器には使用しないでください。
- 電源アダプターのコードの上に重い物を乗せたり、熱器具に近づけたり、無理に引っ張ったりしないでください。コードが破損して火災や感電の原因となります。電源アダプターのコードが傷んだら、ただちに使用を中止して販売店に交換をご依頼ください。
- 付近にペースメーカーを装着されている方がいる場合は、装着部から22cm以上離して使用してください。電波の影響によってペースメーカーが誤作動する恐れがあります。
- 医療機関内や航空機内では使用しないでください。電波の影響によって機器が誤作動し、事故の原因となる恐れがあります。
- 水に入れたり、濡らさないでください。また、水が入った容器や金属片などを、機器の上に置かないでください。火災や感電の原因となります。
- 煙が出る、異臭がする、水や異物が入った、破損した等の異常がある時は、ただちに電源アダプターをコンセントから抜き、修理を依頼してください。異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。
- 分解や改造は行わないでください。お客様が保守できる部品は内部にはありません。分解や改造は保証期間内でも保証の対象外となるばかりでなく、火災や感電の原因となります。
- 長時間使用しない時や落雷の恐れがある時は、電源アダプターをコンセントから抜いてください。火災や感電の原因となります。また、雷が鳴り出したら金属部分や電源アダプターには触れないでください。

注意

- 斜面や不安定な場所に設置しないでください。また、ラックに設置する場合は、必ず専用のラックマウント金具を使用し、重量を支えるために全てのねじをしっかりと固定してください。落下すると、けがや器物破損の原因となります。
- 以下のような場所に設置しないでください。火災や故障の原因となります。
 - ・ 直射日光の当たる場所
 - ・ 温度の特に高い場所、または低い場所
 - ・ 湿気の多い場所
 - ・ ほこりの多い場所
 - ・ 振動の多い場所
 - ・ 塩害や腐食性ガスが発生する場所
- 機器の移動は、電源アダプターや他の機器との接続ケーブルを全て外した上で行ってください。けがや故障、ケーブル破損の原因となります。
- 配線は、全ての機器をコンセントから抜き、取扱説明書に従って正しく行ってください。コンセントに差し込んだまま配線すると、感電する恐れがあります。また、誤配線によるショート等は火災の原因となります。
- 濡れた手で、電源アダプターや他の機器との接続ケーブルの抜き差しをしないでください。感電の原因となります。
- 電源を入れたり切ったりする前に、各機器の音量を最小にしてください。突然大きな音が出て聴覚障害や機器の破損の原因となります。
- 指定以外の電池は使用しないでください。また半年以上使用しないときは、送信機から電池を取り外してください。電池の破裂、液漏れによるけがや火災の原因となります。
- 送信機に電池を挿入するときは極性の向きに注意し、機器の表示通りに正しく入れてください。間違えると、液漏れによるけがや火災の原因となります。

使用上のご注意

- 送信機は、電波法に基づく特定小電力無線局として技術基準適合証明を受けています。従って、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。ただし、以下の事項を行うと法律で罰せられることがあります。
 - ・ 送信機を分解/改造すること。
 - ・ 送信機に貼ってある証明番号が印刷されたラベルをはがすこと。
- 本機は日本の電波法に準拠して製造された国内専用モデルです。海外で使用すると各国の法律により処罰されることがあります。
- 本機で、送信機と受信機が通信可能な距離はおおよそ20mです。通信可能な距離は見通しの良い場所で使用した場合の値で、以下のような環境では距離が短くなったり音が途切れる可能性があります。上手く動作しない場合は、トラブルシューティング(P.16)を参照しながら必要に応じて対策を行ってください。
 - ・ 送信機と受信機の上に障害物がある場合
 - ・ 受信機のアンテナの向きが適切でない場合
 - ・ 送信機や受信機を直接地面や床に置いた場合
 - ・ 雨天時の屋外で使用した場合
 - ・ 周囲で電波を発信する他の機器を使用している場合
- ノイズの発生を防ぐため、送信機と受信機の距離は少なくとも3m以上あげてください。5mが最適な距離です。
- 高電圧送電ケーブル、スマートフォン、携帯電話などの強電磁界付近への設置は避けてください。外部からの誘導電界は、音声回路に悪影響を与えます。

目次

安全上のご注意	P.02
---------------	------

使用上のご注意	P.03
---------------	------

目次	P.04
----------	------

主な特徴	P.05
------------	------

梱包内容の確認	P.06
---------------	------

各部の名称と機能

2チャンネル受信機	P.07
-----------------	------

1チャンネル受信機	P.08
-----------------	------

ハンドヘルド型送信機	P.09
------------------	------

ボディーバック型送信機	P.10
-------------------	------

受信機の設置

受信機の設置	P.11
--------------	------

受信機のアンテナの向き調整	P.11
---------------------	------

受信機のラックマウント	P.12
-------------------	------

セットアップ	P.14
--------------	------

トラブルシューティング	P.16
-------------------	------

仕様	P.17
----------	------

主な特徴

WMS40 PRO MINIは、優れたコストパフォーマンスを実現しており、レコーディング用マイクロホンで評価の高いAKGのワイヤレスシステムを気軽に導入できます。操作も極めて簡単でワイヤレスを初めて使う方でも安心です。セット内容の異なる、2チャンネル・モデル2機種と、1チャンネル・モデル2機種を用意しました。

- 送信機や受信機、乾電池、楽器用接続ケーブルなど、必要なものが1つのパッケージに収められているため、購入後すぐに使用できます。
- 送信機は、単3形アルカリ乾電池1本で約30時間駆動でき、ランニングコストが大幅に節約可能。単3形ニッケル水素充電電池や単3形リチウム乾電池にも対応しています。
- 電波を送信する周波数には免許の必要がないB帯を利用しているため、免許更新料や電波利用料が掛かりません。
- 送信機と受信機の電源を入れて、出力レベルを調整するだけですぐに使用可能。難しい設定は一切必要ありません。
- 受信機には、電源のONを知らせるLEDや電波を正常に受信していることを知らせるLED、過大信号の入力を警告するLEDを搭載。送信機には電池残量を知らせるLEDも備えており、動作状態を一目で確認できます。
- 送信機には、スライド式の電源スイッチを搭載し、OFF/ミュート/ONを手元で簡単に切り替えられます。
- 受信機は、幅134mm、奥行132mmとコンパクトで、設置場所を選びません。オプションでラックマウント金具も用意しており、2台までの受信機をEIA 1Uのスペースに設置できます。
- ボディーバック型送信機は、極めて小型・軽量で着けていることを感じさせないデザイン。クリップを備えており、ベルトなどに簡単に取り付けられます。細身のハンドヘルド型送信機は、手の小さい女性や子供でも握りやすく、疲れることなく扱えます。
- ハンドヘルド型送信機はクリアなサウンドでボーカルを際立たせます。ボディーバック型送信機は、付属の楽器用接続ケーブルのほか、オプションでAKGの高品位なヘッドフォン/イヤーフック/ラベリア/楽器用マイクロホンを使用できます。

梱包内容の確認

WMS40 PRO MINIは、セット内容の異なる2チャンネル・モデル 2機種と1チャンネル・モデル 2機種を用意しています。さらに1チャンネル・モデルには、送信周波数が異なるJP1(808.625MHz)とJP2(809.125MHz)の2つのバージョンがあります。以下に、それぞれの商品の梱包内容を記載しますので、パッケージを確認してください。

※ WMS40 PRO MINIは、電波の送信に免許の必要がないB帯を利用し、同一会場で最大2チャンネルまで同時に運用できます。

※ 最大同時運用可能チャンネル数は、他の電波を発信する機器による混信が一切ない状況で使用した場合に同時に運用できる最大のチャンネル数です。同一会場で同時に運用できるのは、2チャンネル・モデルでは1セット、1チャンネル・モデルでは2セットになります。

※ 1チャンネル・モデルを同一会場で同時に2セット運用するためには、送信周波数の異なるJP1バージョンとJP2バージョンを1セットずつ用意する必要があります。

■2チャンネル・モデル

WMS40 PRO MINI2 VOCAL SET DUAL

2チャンネル受信機(SR40 MINI PRO2)、ハンドヘルド型送信機(HT40 MINI PRO)×2、単3形アルカリ乾電池×2、電源アダプター、和文取扱説明書

WMS40 PRO MINI2 INSTRUMENTAL SET DUAL

2チャンネル受信機(SR40 MINI PRO2)、ボディーバック型送信機(PT40 MINI PRO)×2、楽器用接続ケーブル(MKG L)×2、単3形アルカリ乾電池×2、電源アダプター、和文取扱説明書

■1チャンネル・モデル

WMS40 PRO MINI VOCAL SET(JP1/JP2)

1チャンネル受信機(SR40 MINI PRO)、ハンドヘルド型送信機(HT40 MINI PRO)、単3形アルカリ乾電池、電源アダプター、和文取扱説明書

WMS40 PRO MINI INSTRUMENTAL SET(JP1/JP2)

1チャンネル受信機(SR40 MINI PRO)、ボディーバック型送信機(PT40 MINI PRO)、単3形アルカリ乾電池、楽器用接続ケーブル(MKG L)、電源アダプター、和文取扱説明書

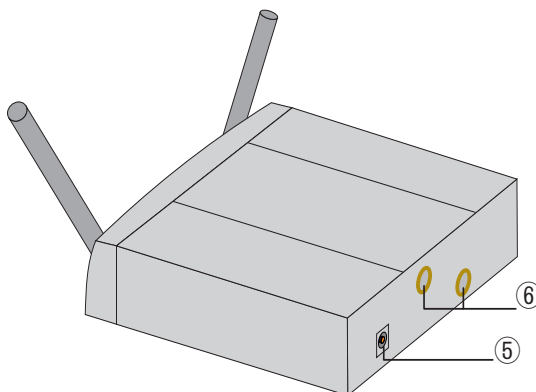
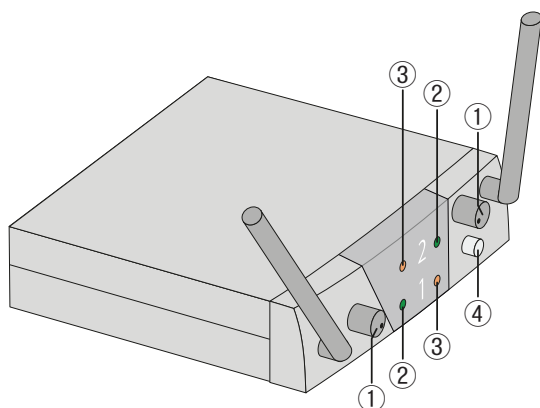
各部の名称と機能

ここでは、WMS40 PRO MINIの2チャンネル受信機、1チャンネル受信機、ハンドヘルド型送信機、ポディーバック型送信機の各部の名称と機能について記載します。

2チャンネル受信機(SR40 MINI PRO2)

前面パネル

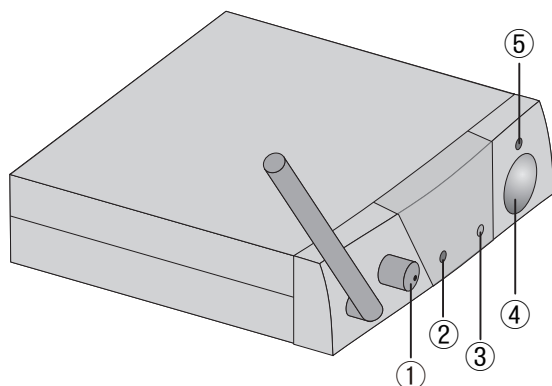
背面パネル



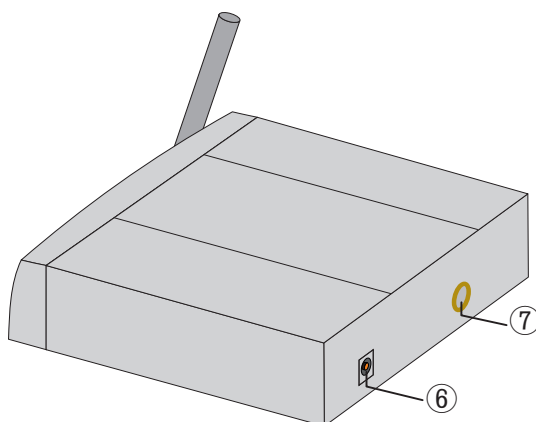
- ① **VOLUMEつまみ**：出力レベルを調整するつまみです。下がチャンネル1、上がチャンネル2のつまみになっています。
- ② **RF OK LED**：送信機から送られるRF(高周波)信号の受信状況を表示するLEDです。RF信号を十分なレベルで受信している場合に緑色に点灯します。信号を受信していない場合や信号のレベルが十分ではない場合は点灯しません。下がチャンネル1、上がチャンネル2のLEDになっています。
備考 ・RF OK LEDが点灯しない場合は、「送信機と受信機の距離が遠い」「送信機と受信機の間に障害物がある」「受信機のアナテナの向きが適切でない」「送信機や受信機を直接地面や床に置いている」「雨天時の屋外で使用している」「周囲で電波を発信する他の機器を使用している」などが原因として考えられます。トラブルシューティング(P.16)を参照しながら必要に応じて対策を行ってください。
- ③ **AF CLIP LED**：送信機から送られるAF(音声)信号のレベルを表示するLEDです。AF信号のレベルが高すぎる場合に赤色に点灯します。下がチャンネル1、上がチャンネル2のLEDになっています。
備考 ・AF CLIP LEDが頻繁に点灯する場合は、ゲインの調整が必要です。ポディーバック型送信機のゲインの調整はゲインコントロールつまみで行います(P.10)。ハンドヘルド型送信機のゲインは調整できません。
- ④ **電源スイッチ**：電源のON/OFFを切り替えるスイッチです。本機に電源が供給されていて、スイッチがONの場合に緑色に点灯します。
- ⑤ **電源端子**：付属の電源アダプターを接続するための電源端子です。
- ⑥ **出力端子**：バランス仕様標準フォーンジャック(TRS)の出力端子です。ミキサーなどのPAシステムと接続します。下がチャンネル1、上がチャンネル2の出力端子になっています。

1チャンネル受信機(SR40 MINI PRO)

前面パネル



背面パネル



① **VOLUMEつまみ**：出力レベルを調整するつまみです。

② **RF OK LED**：送信機から送られるRF(高周波)信号の受信状況を表示するLEDです。RF信号を十分なレベルで受信している場合に緑色に点灯します。信号を受信していない場合や信号のレベルが十分ではない場合は点灯しません。

備考

・RF OK LEDが点灯しない場合は、「送信機と受信機の距離が遠い」「送信機と受信機の間に障害物がある」「受信機のアンテナの向きが適切でない」「送信機や受信機を直接地面や床に置いている」「雨天時の屋外で使用している」「周囲で電波を発信する他の機器を使用している」などが原因として考えられます。トラブルシューティング(P.16)を参照しながら必要に応じて対策を行ってください。

③ **AF CLIP LED**：送信機から送られるAF(音声)信号のレベルを表示するLEDです。AF信号のレベルが高すぎる場合に赤色に点灯します。

備考

・AF CLIP LEDが頻繁に点灯する場合は、ゲインの調整が必要です。ポディーバック型送信機のゲインの調整はゲインコントロールつまみで行います(P.10)。ハンドヘルド型送信機のゲインは調整できません。

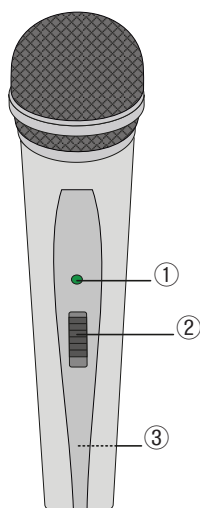
④ **電源スイッチ**：電源のON/OFFを切り替えるスイッチです。

⑤ **ON/OFF LED**：電源のON/OFF状況を表示するLEDです。本機に電源が供給されていて、電源スイッチがONの場合に緑色に点灯します。

⑥ **電源端子**：付属の電源アダプターを接続するための電源端子です。

⑦ **出力端子**：バランス仕様標準フォーンジャック(TRS)の出力端子です。ミキサーなどのPAシステムと接続します。

ハンドヘルド型送信機 (HT40 MINI PRO)



- ① **ステータスLED**：電池から電源が供給されていて、OFF-MUTE-ONスイッチがMUTEまたはONになっている場合に点灯するLEDです。以下の通り、点灯する色の違いにより電池残量が確認できます。

緑色に点灯：電池残量が十分にあり使用できる状態です。

赤色に点灯：電池残量が少なくなっています。早めに新しい電池と交換してください。

備考

・OFF-MUTE-ONスイッチがMUTEまたはONになっているのにステータスLEDが点灯しない場合は、電池残量がないか、電池が誤った向きに挿入されている可能性があります。電池残量や電池の向きを確認してください。

- ② **OFF-MUTE-ONスイッチ**：電源のON/OFFとMUTEを切り替えるスイッチです。スイッチの位置による動作の違いは以下の通りです。

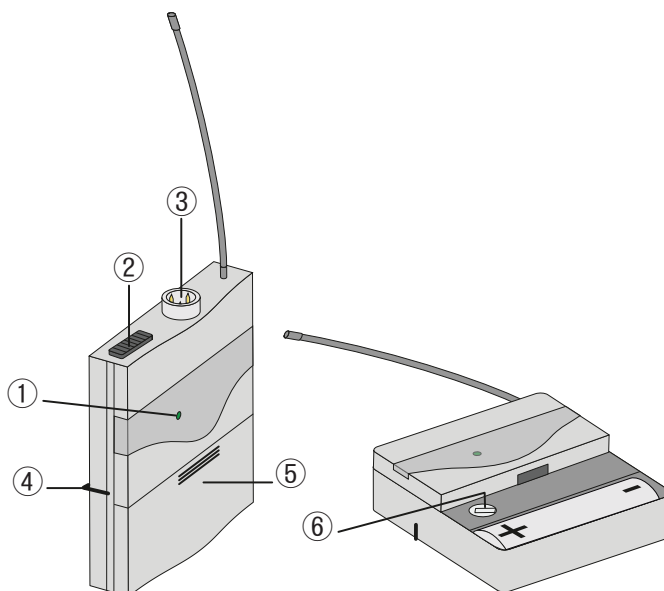
OFF：電源はOFFです。

MUTE：電源はONで音がミュートされている状態です (RF信号の出力ON、AF信号の出力OFF)。

ON：電源はONで音が出る状態です (RF信号の出力ON、AF信号の出力ON)。

- ③ **電池カバー**：電池カバーです。カバー上部中央のくぼみを押しながら下に引き下げると外せます。電池は本体に記載してある表示に従って入れてください。

ボディパック型送信機(PT40 MINI PRO)



- ① **ステータスLED**：電池から電源が供給されていて、OFF-MUTE-ONスイッチがMUTEまたはONになっている場合に点灯するLEDです。以下の通り、点灯する色の違いにより電池残量が確認できます。

緑色に点灯：電池残量が十分にあり使用できる状態です。

赤色に点灯：電池残量が少なくなっています。早めに新しい電池と交換してください。

備考

・OFF-MUTE-ONスイッチがMUTEまたはONになっているのにステータスLEDが点灯しない場合は、電池残量がないか、電池が誤った向きに挿入されている可能性があります。電池残量や電池の向きを確認してください。

- ② **OFF-MUTE-ONスイッチ**：電源のON/OFFとMUTEを切り替えるスイッチです。スイッチの位置による動作の違いは以下の通りです。

OFF：電源はOFFです。

MUTE：電源はONで音がミュートされている状態です(RF信号の出力ON、AF信号の出力OFF)。

ON：電源はONで音が出る状態です(RF信号の出力ON、AF信号の出力ON)。

- ③ **入力端子**：バランス仕様ミニXLR 3ピンの入力端子です。楽器用接続ケーブルやAKGのボディパック型送信機用マイクロホンを接続します。

- ④ **ベルトクリップ**：ベルトやポケットに装着する場合に使用するクリップです。AKGのロゴがプリントされた面が外側になるように装着してください。

- ⑤ **電池カバー**：電池カバーです。カバー上部中央の溝を押しながら下に引き下げると外せます。電池は本体に記載してある表示に従って入れてください。

備考

・電池カバーの上部中央にある突起は、ゲインコントロールつまみを操作する際のドライバーとして使用できます。

- ⑥ **ゲインコントロールつまみ**：ゲインを調整するつまみです。受信機のAF CLIP LEDが頻繁に点灯する場合はゲインを下げてください。

受信機の設置

ここでは、WMS40 PRO MINIの受信機の設置方法について記載します。

受信機の設置

受信機は、送信機を使用する場所から視認できるステージ袖などに設置してください。送信機と受信機が通信可能な距離は約20mです。

備考

・通信可能な距離は見通しの良い場所で使用した場合の値で、以下のような環境では距離が短くなったり音が途切れる可能性があります。上手く動作しない場合は、トラブルシューティング(P.16)を参照しながら必要に応じて対策を行ってください。

- ・送信機と受信機の間には障害物がある場合
- ・受信機のアンテナの向きが適切でない場合
- ・送信機や受信機を直接地面や床に置いた場合
- ・雨天時の屋外で使用した場合
- ・周囲で電波を発信する他の機器を使用している場合

受信機のアンテナの向きの調整

受信機のアンテナの向きを下の画像のように調整すると、最適な受信性能が得られます。

注意

・アンテナは前面パネルに沿う形で折りたたむことができます。折りたたむ場合はアンテナやVOLUMEつまみに無理な力が掛からないように注意してください。破損する恐れがあります。



受信機のラックマウント

オプションのラックマウント金具「RMU40 MINI」を使用すれば、2台までの受信機をEIA 1Uのスペースに設置できます。以下の手順に従ってラックに取り付けてください。

ラックマウント金具「RMU40 MINI」の梱包内容

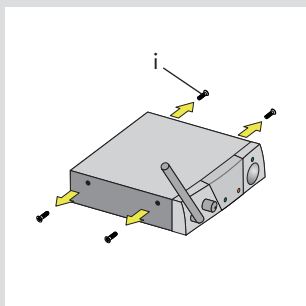
- U字金具×2
- L字金具×2
- 連結金具×2
- U字/L字金具固定ねじ×4
- U字/L字金具固定ワッシャー×4
- U字/L字金具固定ナット×4
- 連結金具固定ねじ×12
- アンテナホールキャップ×2

備考 ラックに取り付ける際に使用するねじやワッシャーは「RMU40 MINI」に付属していません。別途ご用意ください。

受信機1台をラックマウントする場合

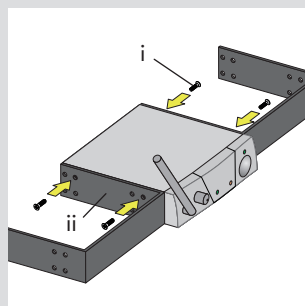
1

受信機の両側面にあるねじとワッシャー*i*を取り外します。



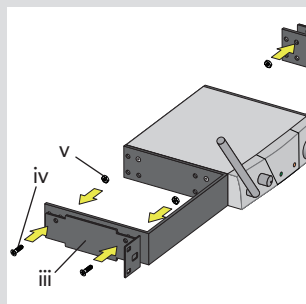
2

受信機の両側面に、U字金具*ii*を①で外したねじとワッシャー*i*を使用して取り付けます。



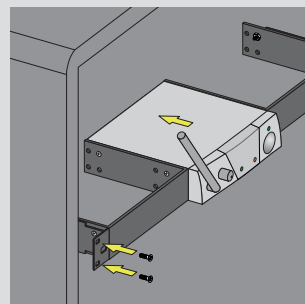
3

取り付けしたU字金具の両側面に、L字金具*iii*をU字/L字金具固定ねじとワッシャー*iv*、ナット*v*を使用して取り付けます。



4

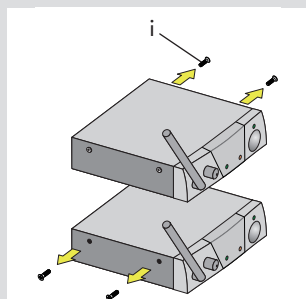
ラックに取り付けます。



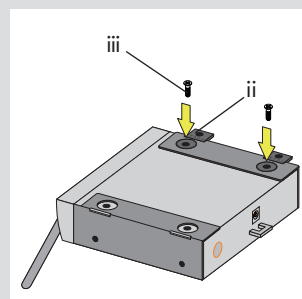
受信機2台をラックマウントする場合

1

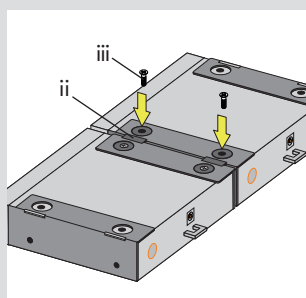
2台の受信機の連結しない側の側面にあるねじとワッシャー*i*を取り外します。


2

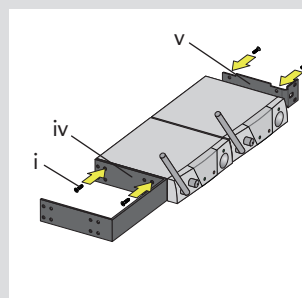
1台目の受信機を裏返しにして、連結する側の側面に連結金具*ii*を差し込み、連結金具固定ねじ*iii*を使用して固定します。


3

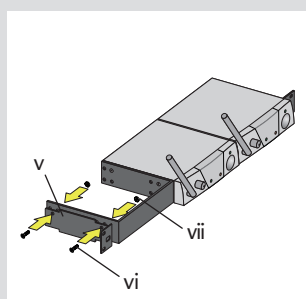
2台目の受信機を裏返しにして、連結する側の側面に②で固定した連結金具*ii*のもう一方を差し込み、連結金具固定ねじ*iii*を使用して固定します。


4

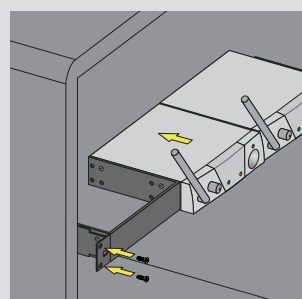
連結した受信機の片側側面に、U字金具*iv*を①で外したねじとワッシャー*i*を使用して取り付けます。もう一方の側面に、L字金具*v*を①で外したねじとワッシャー*i*を使用して取り付けます。


5

U字金具の側面に、L字金具*v*をU字/L字金具固定ねじとワッシャー*vi*、ナット*vii*を使用して取り付けます。


6

ラックに取り付けます。

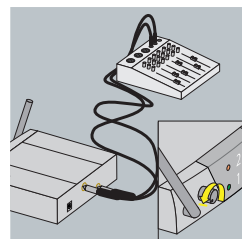


セットアップ

ここでは、WMS40 PRO MINIのセットアップの方法を記載します。2チャンネル・モデルについて記載していますが、1チャンネル・モデルも同様です。

1.受信機とPAシステムを接続する

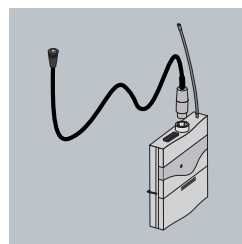
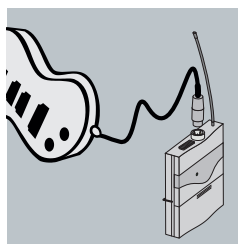
受信機の出力端子とミキサーなどのPAシステムの入力端子を接続します。ノイズの発生を防ぐため、接続ケーブルの長さは3m以内にしてください。VOLUMEつまみは左に回し切りにします。



1

2.ポディーバック型送信機に楽器やマイクロホンを接続する

楽器を接続する場合は、付属の楽器用接続ケーブルを使用します。ケーブルのフォンプラグを楽器に接続し、もう一方をポディーバック型送信機の入力端子に接続してください。マイクロホンを接続する場合は、AKGのポディーバック型送信機用マイクロホンをお使いください。



2



注意

他のメーカーのマイクロホンを使用した場合、動作の保障はできません。また、その場合に発生した故障は保証の対象外となります。

備考

ポディーバック型送信機の入力端子のピン配列は以下の通りです。

ピン1:グラウンド

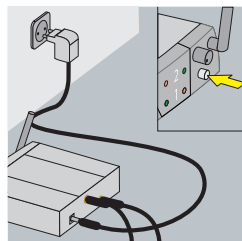
ピン2:オーディオ

ピン3:電源供給(4V)

3.受信機の電源をONにする

以下の手順で電源をONにします。

- (1) 付属の電源アダプター的一方を、受信機の電源端子に接続します。
- (2) 電源アダプターのもう一方に平行のプラグを装着し、電源コンセントに接続します。
- (3) 受信機の電源スイッチを押して電源をONにします。

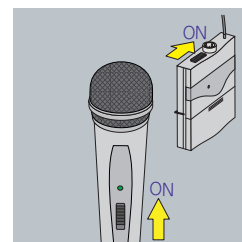
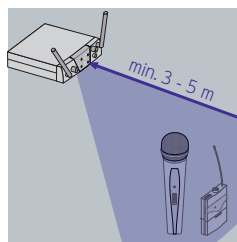


3

4.送信機の電源をONにする

以下の手順で電源をONにします。

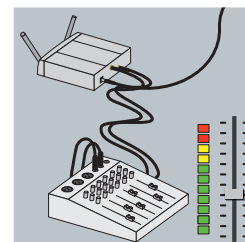
- (1) 送信機の電池カバーを外し、本体に記載してある表示に従って電池を挿入します。
- (2) 送信機と受信機の距離を3～5m以内に近づけて、OFF-MUTE-ONスイッチをONにします。
- (3) 送信機のステータスLEDが緑色に点灯していることを確認してください。赤色に点灯した場合は電池残量が少なくなっています。早めに新しい電池と交換してください。
- (4) 受信機のRF OK LEDが緑色に点灯していることを確認してください。



4

5.PAシステムの電源をONにする

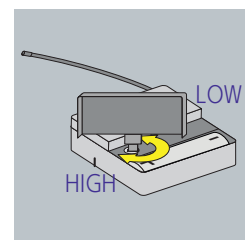
接続されているPAシステムの電源をONにして、音が出る状態にします。



5

6.ポディーバック型送信機のゲインを調整する

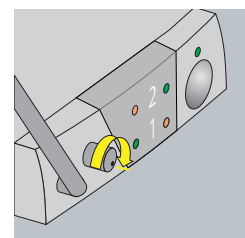
受信機のAF CLIP LEDを確認しながら、マイクロホンに向かって声を出す、もしくは楽器を演奏します。AF CLIP LEDがピーク時にのみ点灯するのであれば問題はありませんが、頻繁に点灯する場合はゲインコントロールつまみでポディーバック型送信機のゲインを下げてください。ハンドヘルド型送信機のゲインは調整できません。



6

7.受信機出力レベルを調整する

VOLUMEつまみを使用して信号の出力レベルを調整します。



7

トラブルシューティング

以下は、通常発生する可能性のあるトラブルの症状とその対策です。解決できない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

症状	原因	解決方法
送信機の電源が ON にならない	送信機の電池の向きが間違っている。	本体に記載してある表示に従って、電池を正しい向きに入れ直します。
	送信機の電池残量が不足している。	新しい電池に取り替えます。
	送信機の OFF-MUTE-ON スイッチが OFF になっている。	OFF-MUTE-ON スイッチを MUTE または ON にします。
受信機の電源が ON にならない	電源アダプターが受信機の電源端子やコンセントに接続されていない。	電源アダプターを受信機やコンセントに接続します。
	受信機の電源スイッチが OFF になっている。	電源スイッチを ON にします。
音が出ない	受信機がミキサーなどの PA システムに接続されていない。	ミキサーなどの PA システムに接続します。
	ポディーバック型送信機に楽器やマイクロホンが接続されていない。	楽器やマイクロホンを接続します。
	送信機の OFF-MUTE-ON スイッチが MUTE になっている。	OFF-MUTE-ON スイッチをスライドさせて ON にします。
	ポディーバック型送信機のゲインの設定が低すぎる。	ゲインコントロールつまみでゲインを上げます。
音が出ない、音が途切れる	送信機と受信機の距離が遠い。	距離を近づけます。送信機と受信機が通信可能な距離は約 20m です。
	送信機と受信機の間に障害物がある。	障害物を取り除くか、使用場所を変更します。障害物からは 1.5m 以上離して設置してください。
	受信機のアンテナの向きが適切でない。	P.11 を参照して向きを適切に調整します。
	送信機や受信機を直接地面や床に置いている。	地面や床からは離して設置します。
	雨天時の屋外で使用している。	使用場所を変更します。
	周囲で電波を発信する他の機器を使用している。	電波を発信している機器の電源を OFF にするか、使用場所を変更します。
ノイズが出る	送信機と受信機の距離が近い。	距離は少なくとも 3m 以上あけてください。5m が最適です。
	受信機とミキサーなどの PA システムの接続ケーブルが長い。	接続ケーブルの長さは 3m 以内にしてください。
	高電圧送電ケーブル、スマートフォン、携帯電話などが近くにある。	ケーブルの移動や機器の電源を OFF にするか、使用場所を変更します。
音が歪む	ポディーバック型送信機のゲインの設定が高すぎる。	ゲインコントロールつまみでゲインを下げます。

仕様

システム性能

電波形式	F3E
搬送波周波数	JP1 : 808.625MHz、JP2 : 809.125MHz
到達距離	約 20m ※見通しのよい屋外で使用了場合。※使用環境により異なる。
空中線電力	6mW
THD	0.8% 以下
周波数特性	40Hz ~ 20kHz ※システム全体の帯域幅はマイクロホンにより変動。

2 チャンネル受信機 (SR40 MINI PRO2)

出力	出力数	2
	端子・形式	標準フオンジャック (3P)、電子バランス
	インピーダンス	1.3k Ω
	最大出力レベル	5.7dBu
SN 比		110dB(A ウェイト)
電源		DC12V(0.5A)、AC アダプター (AC100V、50/60Hz)
寸法 (W × H × D)		134 × 43 × 132mm(除突起部)
質量		524g

1 チャンネル受信機 (SR40 MINI PRO)

出力	出力数	1
	端子・形式	標準フオンジャック (3P)、電子バランス
	インピーダンス	1.3k Ω
	最大出力レベル	5.7dBu
SN 比		110dB(A ウェイト)
電源		DC12V(0.5A)、AC アダプター (AC100V、50/60Hz)
寸法 (W × H × D)		134 × 43 × 132mm(除突起部)
質量		466g

ハンドヘルド型送信機 (HT40 MINI PRO)

アンテナ形式	内蔵式アンテナ
電源	単 3 形アルカリ乾電池× 1 または 単 3 形ニッケル水素充電電池× 1 または 単 3 形リチウム乾電池× 1
電池寿命	アルカリ乾電池：約 30 時間、ニッケル水素充電電池：約 30 時間、 リチウム乾電池：約 30 時間 ※使用環境により異なる。
寸法 (φ×全長)	53 × 228mm
質量	192g

ボディバック型送信機 (PT40 MINI PRO)

アンテナ形式	1/4 波長ホイップアンテナ
入力端子	ミニ XLR 3 ピン (オス)
最大入力レベル	12dBu
ゲイン調整範囲	0 ~ 30dB
電源	単 3 形アルカリ乾電池× 1 または 単 3 形ニッケル水素充電電池× 1 または 単 3 形リチウム乾電池× 1
電池寿命	アルカリ乾電池：約 30 時間、ニッケル水素充電電池：約 30 時間、リチウム乾電池：約 30 時間 ※使用環境により異なる。
寸法 (W × H × D)	60 × 72 × 22mm (除突起部)
質量	54g



この取扱説明書に記載されている商品名、会社名等は、その会社の登録商標または商標です。

H!BINO

<http://www.hibino.co.jp/>
E-mail: proaudiosales@hibino.co.jp

ヒビノ株式会社 ヒビノプロオーディオセールス Div.

営業部
〒108-0075 東京都港区港南3-5-12
TEL: 03-5783-3110 FAX: 03-5783-3111

札幌オフィス
〒063-0813 北海道札幌市西区琴似三條1-1-20
TEL: 011-640-6770 FAX: 011-640-6776

大阪ブランチ
〒564-0051 大阪府吹田市豊津町18-8
TEL: 06-6339-3890 FAX: 06-6339-3891

名古屋オフィス
〒450-0003 愛知県名古屋市中村区名駅南3-4-26
TEL: 052-589-2712 FAX: 052-589-2719

福岡ブランチ
〒812-0041 福岡県福岡市博多区吉塚4-14-6
TEL: 092-611-5500 FAX: 092-611-5509